

はじめに



本市は、東に鬼怒川、西に西仁連川が流れ、この豊富な水源を利用して、結城紬を始めとする伝統工芸や、日本酒、醤油づくりなどの地場産業が発展してきました。

また、肥沃な土地にも恵まれ農業が盛んに行われており、その新鮮さ、味、品質は消費者から高く評価されています。

本市ではこれまで平成25年3月に「結城市環境基本計画」を策定し、目指す環境像である「みんなで育む ふるさとの環境 自然と伝統が織りなすまち 結城」の実現に向けて各種環境施策を取り組んできました。しかし、近年、地球温暖化を始めとする環境問題は深刻さを増し、自然災害が頻繁に発生しています。また、ライフスタイルの変化に伴い、資源の消費や廃棄物の大量発生など、環境負荷の増加が懸念されており、私たちの生活への影響が顕在化してきています。

そこで、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロにすることを旨とする「ゼロカーボンシティ」を表明し、地球温暖化対策の大きな一歩を踏み出しました。

このような状況の中、循環型社会を構築し、本市の恵み豊かな自然環境を将来世代に引き継ぐため「みんなで築く 人と自然が共生する 環境にやさしいまち 結城」という目指すべき環境像を新たに掲げ、「第2次結城市環境基本計画」を策定いたしました。

本計画の実現には、市民、事業者や各種団体の皆様と市が一体となった環境配慮活動が重要であると考えております。引き続き、皆様方のより一層の御理解と御協力をお願い申し上げます。

結びに、本計画の策定にあたり、多大な御尽力を賜りました結城市環境審議会委員の皆様をはじめ、結城市環境基本計画策定委員会の委員の皆様、貴重な御意見、御提言をいただきました市民、事業者の皆様方に心から御礼申し上げます。

令和3年3月

結城市長 小林 栄